

起案No.	2017005
起案者	役員会
起案名	10インチ車両規制緩和への検証準備情報
1,起案レベル	車両規則改定の検証準備情報
2,案件抽出日	2017年
3,誰が	役員会
4,どこで	役員会打ち合わせ
5,対象レース、クラス	FP4、FP4-ST
6,対象車種	アドレスV125、VJR125
7,内容詳細	<p>・10インチ車両戦闘力の引き上げによるFP4-ST参加者増加</p> <p>背景： 12インチシグナス主体であるFP4-STクラスでは10インチ車両の戦力不足が顕著である。 エンジン性能比較として、シグナス等12インチ車両は4バルブエンジンであるが アドレスは2バルブ125cc、VJRは4バルブ115ccと非力である。</p> <p>課題： 一番のネックはタイヤ性能の差であり、車重の差でも埋める事が出来ない程にコーナリング性能で劣る。 10インチ車両の戦闘力の引き上げが必要である。</p> <p>提案： コーナリング性能とエンジン性能の規定緩和</p> <p>規定検証項目例</p> <ul style="list-style-type: none"> ①社外軽量強化ホイールと前後サスペンションの改造と変更を認める ②大径ブレーキやブレーキシステムの改造や変更を認める ②エアクリナー装置の改造を認める(取り外しも含む) ③エンジンバルブスプリングの改造と変更を認める ④スロットルボディーの改造と変更を認める ⑤カムシャフトの改造と変更を認める <p>※上記規制内容の根拠は現在無し、段階的に選手会、または実戦にて検証を希望。</p> <p>指摘1： ストレートが速い車両との競り合いはイコールコンディションとは言えず、まずはコーナリング性能強化が必須である 対応1： スリック等上位タイヤが存在しない、タイヤ以外の部分強化にて対応</p>
8,考えられる良い影響	・イコールコンディションにより参加者の満足度向上、FN4参加者の参加促進
9,考えられる悪い影響	・10インチ車両参加者のコスト増大
10,主催団体との連携	・特に無し
11,仮決定内容の取扱	・承認されない場合は起案保留、主催団体毎と打ち合わせにて都度開示の場合あり。